

令和7年11月13日

報道機関 各位

地域生活文化課

令和7年度地域文化功労者表彰被表彰者について

標記について、文化庁から本県に係る被表彰者を決定した旨の通知がありましたので、お知らせします。

報道機関用資料提供（連絡先）		
担当課	交通・地域社会部 地域生活文化課 文化スポーツ・NPOグループ	
	担当者名 総括主幹（GM）辻 貴子 主事 石岡 彩華	
電話	内線	2 6 6 1、2 6 6 3
番号	直通	0 1 7－7 3 4－9 2 0 7
報道監		交通・地域社会部 次長 奥田 昌範

令和7年度地域文化功労者表彰について

「地域文化功労者表彰」は、全国各地域において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰するものです。

昭和58年度から実施しており、令和7年度の被表彰決定者（団体）は総計93件で、内訳は、個人74名（芸術文化50名、文化財24名）、19団体（芸術文化2団体、文化財17団体）となります。

記

1 本県の被表彰者

分 野	氏名
芸術文化 (洋舞)	久保 照子
芸術文化 (音楽)	竹内 秀男

2 表彰式

日 時 令和7年11月19日（水）15：30～17：20

場 所 京都府立府民ホール アルティ
京都市上京区烏丸通一条下る龍前町590-1

3 今までの本県の被表彰者数、団体数（本年度分含む）

68名（芸術文化関係 56名、文化財保護関係 12名）

14団体（芸術文化関係 12団体、文化財保護関係 2団体）

4 添付資料

令和7年度地域文化功労者表彰 被表彰者 功績の概要

5 問い合わせ先

交通・地域社会部地域生活文化課

文化スポーツ・NPOグループ（内線 2663）

功 績 の 概 要

氏 名 ^{くぼ}久保 ^{てるこ}照子



同人は昭和11年4月に青森県青森市で生まれ、昭和32年に弘前大学教育学部体育科卒業後、青森県内の公立学校教師として22年間勤務。昭和42年に八戸ユニークバレエ、昭和53年に三沢ユニークバレエを開設し、後進の育成や洋舞踊の普及に尽力した。

平成12年から平成16年まで青森県洋舞連盟会長、平成12年から平成14年まで（社）全日本児童舞踊協会理事、平成14年から平成18年まで（社）青森県文化振興会議理事、平成21年から令和2年まで青森県洋舞連盟顧問、平成22年から平成30年まで（一社）現代舞踊協会東北支部運営委員を務めた。

この間、日本全国または海外の舞踊公演に多数参加し、全国コンクールでは多くの入選・入賞を果たし、クオリティーの高い演出、構成、振付は全国的に認められ、優秀な指導者に贈られる童心賞を平成7年に受賞している。特に児童舞踊（舞台芸術家、教育者等専門家が子供の創造性を引き出し作品を作る事を目標にした日本独自の芸術）での功績が大きい。

永年にわたり県内に洋舞踊を普及、浸透させ、県内の文化振興と発展に大きく貢献した。

これらの功績により、昭和60年三沢市文化奨励賞（団体）、昭和61年八戸市文化協会文化奨励賞、平成7年東京新聞社第52回全国舞踊コンクール童心賞、平成12年八戸市文化賞、全日本児童舞踊協会奨励賞、平成18年青森県文化振興会議青森県芸術文化振興功労章、平成26年青森県文化賞、平成29年八戸市文化功労賞、令和元年青森県褒賞を受賞している。

功 績 の 概 要

氏 名 たけうち 竹内 ひでお 秀男



同人は昭和17年7月に青森県むつ市（旧大畑町）で生まれ、日本音楽学校を卒業し、東京学芸大学に派遣留学後、昭和40年から三戸郡内及び八戸市内で中学校教諭（小学校音楽専科、定時制高校音楽講師兼任時期もあり）を務め、平成6年から活水女子大学教授、平成17年から尚美学園大学教授、同大学院教授を歴任。

この間、学校での合唱部の顧問及び指揮者として実践を積み重ね、各種コンクール等で何度も全国1位に導いた。

八戸市立根城中学校在職時には、NHK全国学校音楽コンクールで3年連続受賞を含む5回の日本一に輝き、同コンクールでの全国最多受賞校として名を轟かせた。合唱部門で10回、重唱部門で4回の日本一を受賞し、また、昭和60年にドイツで開催された世界アマチュア合唱コンクールでは各国の国営放送から推薦された多くの合唱団の中から第2位に選ばれた。

その他、著書、資料やCD、学術論文、音楽教育誌など、実践に基づいた多数の発表や記録は、現在も学校教育や社会教育における指導に役立っている。

児童・生徒・学生を指導するとともに、各種講演会や研修会の講師、合唱コンクール全国大会の審査員として、幅広い層へ「音楽を愛する心」を浸透させ、青森県のみならず、全国の音楽教育の発展に大きく貢献した。

これらの功績により、平成26年青森県文化賞、令和2年青森県褒賞を受賞している。

地域文化功労者表彰県内受賞者一覧

受賞年度	氏 名	分 野	
昭和 58 年度	小野 正文	芸術文化	郷土文学研究
	佐藤 米次郎	芸術文化	版画
昭和 59 年度	小山内 時雄	芸術文化	郷土文学研究
	森山 泰太郎	芸術文化	民俗学
昭和 60 年度	高木 恭造	芸術文化	詩
	青森県文化振興会議	芸術文化	団体(文化)
昭和 61 年度	高松 喜久蔵(玉麗)	芸術文化	俳句
	棟方 寅雄	芸術文化	洋画
昭和 62 年度	長内 和夫	芸術文化	演劇
	青森県文化財保護協会	文化財保護	団体(文化財)
昭和 63 年度	吹田 清三郎(孤蓬)	芸術文化	俳句
	西谷 圭介(みさお)	芸術文化	川柳
平成元年度	一戸 呉六	芸術文化	詩
	青森県吹奏楽連盟	芸術文化	団体(音楽)
平成 2 年度	鳴海 健次郎	芸術文化	洋画
	木村 コト(宗馨)	芸術文化	茶道・華道
平成 3 年度	三上 猛美(翠峰)	芸術文化	書道
	米田 一穂	芸術文化	俳句
平成 4 年度	村上 愛一	芸術文化	俳句
	工藤(久藤) 達郎	芸術文化	演劇
平成 5 年度	成田 力 (千空)	芸術文化	俳句
	青森県合唱連盟	芸術文化	団体(音楽)
平成 6 年度	福田 進	文化財保護	文化財保護
	青森県歌人懇話会	芸術文化	団体(短歌)

受賞年度	氏 名	分 野	
平成 7 年度	工藤 俊雄（蘭山）	芸術文化	書道
	青森県洋舞連盟	芸術文化	団体(洋舞)
平成 8 年度	田村 コフ(宗友・春川)	芸術文化	茶道・華道
	濱田 英一	芸術文化	洋画
平成 9 年度	織田 重信	芸術文化	洋画
平成 10 年度	小泉林之助(紫峰)	芸術文化	川柳
	青森県児童文学研究会	芸術文化	団体(文学)
平成 11 年度	奥崎ふみ(西川喜美賀)	芸術文化	日本舞踊
平成 12 年度	小館 善四郎	芸術文化	油彩画
	青森県文芸協会	芸術文化	団体(文芸)
平成 13 年度	鎌田 光展	芸術文化	工芸
	劇団弘前劇場	芸術文化	団体(演劇)
平成 14 年度	山田 千里	芸術文化	芸能
	吉澤 テツ（秀香）	芸術文化	書道
平成 15 年度	鳴海 要	芸術文化	陶芸
	田名部定吉	芸術文化	書道
平成 16 年度	正部家 種康	文化財保護	文化財保護
平成 17 年度	福井 緑	芸術文化	短歌
	村越 潔	文化財保護	文化財保護
平成 18 年度	ファルサ	芸術文化	団体（音楽）
	笹森 建英	文化財保護	文化財保護
平成 19 年度	櫻庭 敏男（梵子）	芸術文化	俳句
平成 20 年度	小寺 隆韶	芸術文化	演劇
	鈴木 廣	芸術文化	版画

受賞年度	氏 名	分 野	
平成 21 年度	八 桁 和子（地水）	芸術文化	華道
	佐藤 明	芸術文化	版画
平成 22 年度	長内 亮	芸術文化	油彩
	佐藤 武司	文化財保護	文化財保護
平成 23 年度	荒谷 博	芸術文化	俳句
	櫻庭 久	芸術文化	書道
平成 24 年度	小倉 尚継	芸術文化	音楽
	短歌結社「国原」	芸術文化	団体（短歌）
平成 25 年度	月永 節（月永 光秋）	芸術文化	華道
	正部家 獎	文化財保護	文化財保護
平成 26 年度	成田 ハル（成田 はる）	芸術文化	舞踏
	西野 ゴヨ（西野 こよ）	芸術文化	工芸
平成 27 年度	秋田 豊	芸術文化	油彩
	工藤 邦男	芸術文化	短歌
平成 28 年度	張山 田鶴子（張山 たづ子）	芸術文化	油彩
	三浦 榮一	文化財保護	文化財保護
平成 29 年度	古川 盛男（古川 暁州）	芸術文化	書道
	夏堀 達子（夏堀 竹翠）	芸術文化	書道
平成 30 年度	佐藤 きむ（佐藤 きん）	芸術文化	文芸
	青山 洋子	芸術文化	洋舞
令和元年度	西川 セイ子（中村 虎治）	芸術文化	日舞
	石橋 弘	文化財保護	文化財保護
令和 2 年度	鬼柳 恵照	文化財保護	文化財保護
	月舘 敏栄	文化財保護	文化財保護

受賞年度	氏 名	分 野	
令和 3 年度	川村 昇一郎	芸術文化	音楽
	須藤 弘敏	文化財保護	文化財保護
令和 4 年度	石川流二代目石川久美子社中	芸術文化	団体（日舞）
	津軽塗技術保存会	文化財保護	団体（文化財保護）
令和 5 年度	江渡 庸	芸術文化	日舞
	岩崎 繁芳	文化財保護	文化財保護
令和 6 年度	春日井 郁子	芸術文化	洋舞
	弘前オペラ	芸術文化	団体（音楽）
令和 7 年度	久保 照子	芸術文化	洋舞
	竹内 秀男	芸術文化	音楽